



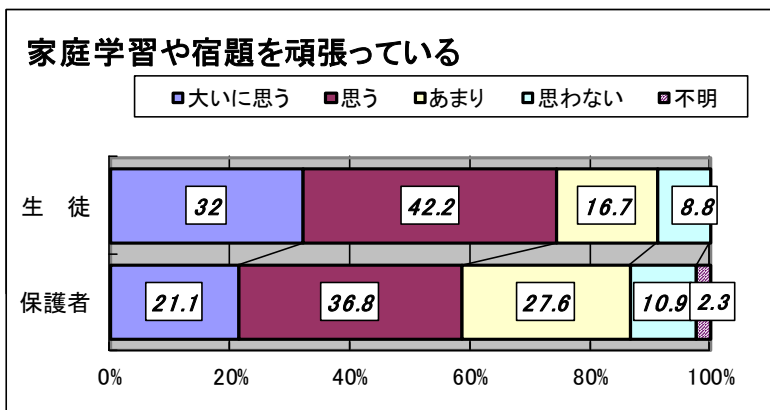
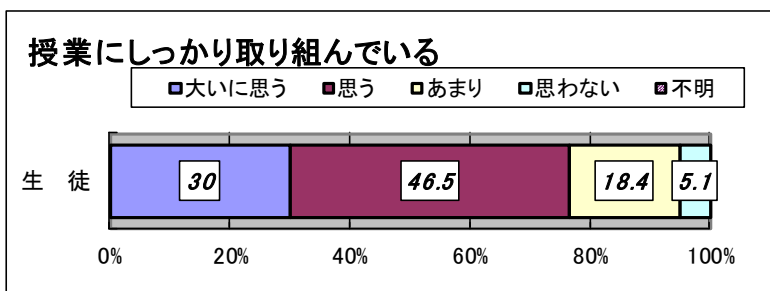
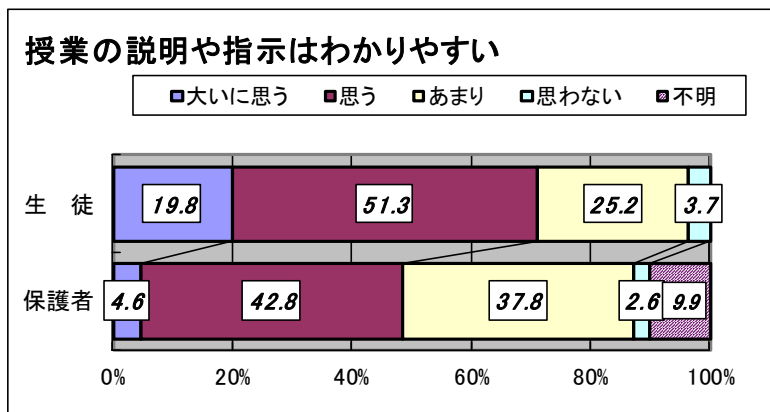
・愛川町立愛川中原中学校  
 ・愛川町角田210  
 ・TEL(286)2710  
 ・発行責任者 中村 正  
 ・編集責任者 波塚 浩司  
 ・2015.3.12(臨時号)

## 『26年度学校評価結果と27年度の学校づくり』

生徒・保護者の皆さまにご協力いただきました、アンケート結果の概要につきまして報告いたします。また、この結果等をうけての27年度の学校づくりに向けた基本的な考え方等を併せて載せさせていただきます。アンケートのご協力ありがとうございました。

なお、本年度は互いの参考にするとともに、より一層の小中連携の推進を図っていきたいと考え、アンケートの一部について、高峰小学校・中津第二小学校・愛川中原中学校で共通の設問を設けています。共通の設問は以下の通りです。

「授業のわかりやすさ」「家庭学習」「学校の楽しさ」「きまりやマナー」「挨拶」「家庭での生活習慣」



#### 【学習や授業・家庭学習】

・「授業のわかりやすさ」については70%を超える生徒が肯定的な回答となっています。また、80%近い生徒が授業にしっかり取り組んでいるという回答になっています。

・同様な設問に小学校の保護者では約90%が肯定的な回答になっており、本校の保護者の回答なども踏まえ授業改善は本校の大きな課題だと考えています。

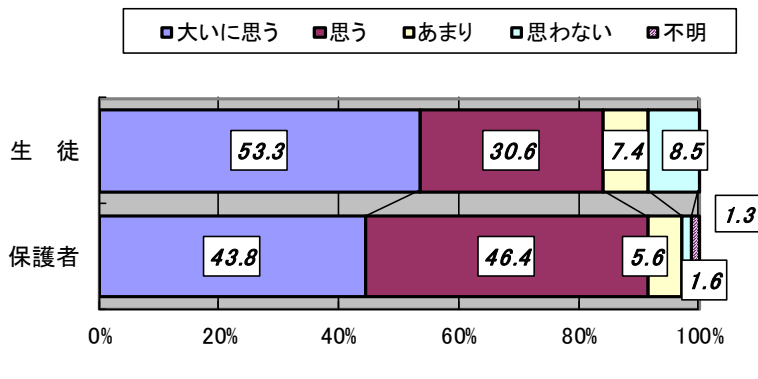
・「家庭学習」について生徒の回答と保護者の回答では肯定的意見で20%近く違いが出ています。保護者から見て家庭学習はさらに頑張りたいという現れだと考えます。この項目について小学校では、肯定的意見が約65%となっており、小・中学校共通の課題と考えられます。

#### 【27年度に向けて】

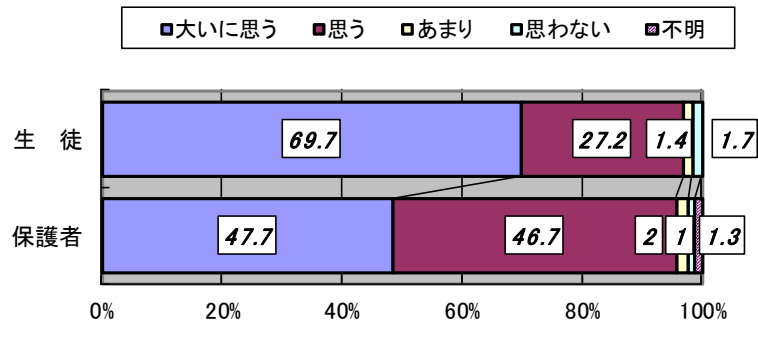
○基礎・基本や活用する力に焦点を当て、授業改善に向けた校内研究の充実を図ります。

○学力の定着に向けて、N-basicや朝テストをさらに充実します。特に3年生では朝テストの回数を増やします。これらを良いきっかけとして家庭学習がより自発的に行われるように働きかけをしていきます。

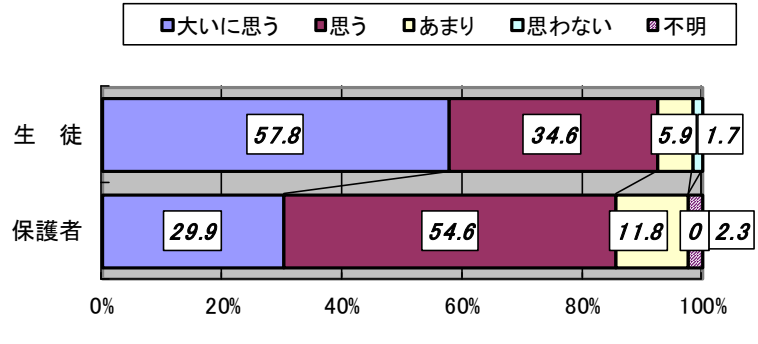
### 学校に楽しく通っている



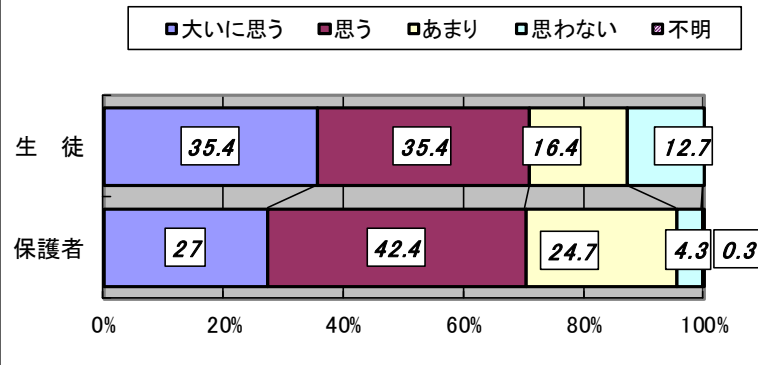
### きまりやマナーを守っている



### あいさつをしっかり行う等礼儀正しく生活して



### 規則正しい生活をしている



### [学校生活や学校の諸活動]

・「学校に楽しく通う」の設問には生徒の約85%、保護者の90%が肯定的な回答となっています。小学校でも90%を超えています。

・「きまりを守る」の設問には生徒の約97%、保護者の95%がしっかり守っていると回答しています。

・「挨拶など礼儀正しく生活している」についても生徒は90%を超えています。小学校でも同様な傾向となっています。

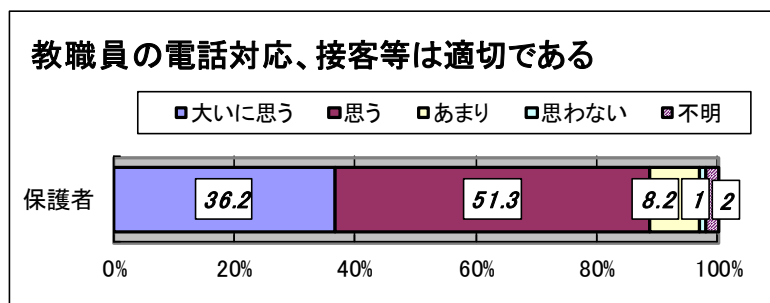
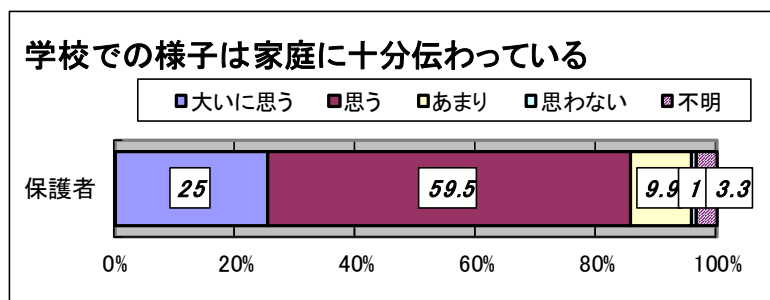
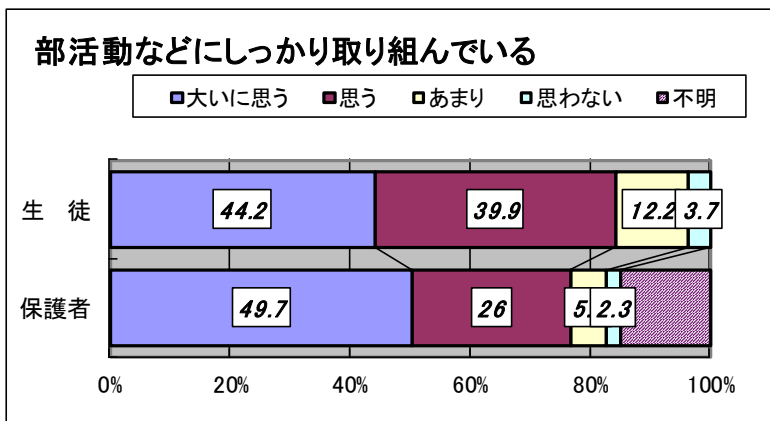
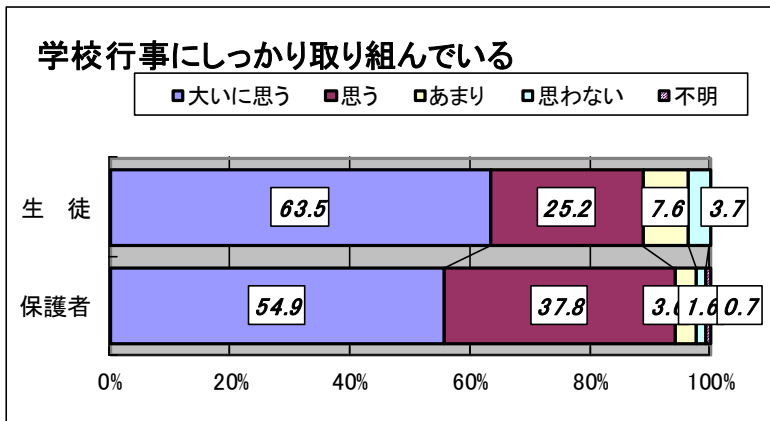
・挨拶について「大いに思う」の項目が保護者と生徒で差異がありますが、校内だけでなく家庭や地域での挨拶など社会の中でできてこそ本物であることを機会をとらえて生徒に訴えかけていきたいと考えます。

・今、学校は大変落ち着いています。生活に関するアンケート結果からもその点が伺えます。一方、家庭での生活習慣として「規則正しい生活（早寝・早起・朝ご飯）」の設問では、肯定的回答が70%でとなり他の項目と比べると低くなっています。

・この項目は、小中共同項目となっています。小学校では肯定的回答が80%を超えていることなど考えると、中学校での課題と考えます。

・「学校行事」の設問には、生徒、保護者とも90%程度が肯定的な回答をしています。中学校の大きな行事として体育大会、文化発表会がありますが、生き生きと取り組む生徒の姿が随所に見られます。

・「部活動」の項目でも85%近くの生徒が肯定的な回答になっています。本校では部活動は全員入部制にはなっていないことも考慮すると入部しているほとんどの生徒が頑張っていると言えます。中学生活の中でも部活動は大切な位置を占めていることを再認識しました。



#### [27年度に向けて]

○学校が楽しいと感じている生徒が大多数であることは頼もしいと思いますが、そう思わない生徒が数の多少ではなく存在していることが課題と考えます。

○一人ひとりのニーズにあった支援を進める一方で、生徒たちが安心して過ごせる学校づくりを推進していきます。

○次年度、本校は開設30周年を迎えます。学校行事などを中心に、学校での各種生徒活動に30年の意味合いを含め、生徒たちの創意を活かした活動を目指して取り組んでいきます。

#### [学校と家庭・教職員]

・「学校での様子」の項目について85%の保護者が肯定的な回答をしています。一人ひとりの生徒の様子を伝えるとともに、学校全体の様子や各取り組みなど、機会をとらえて伝えていくことは大切だと考えています。

・次年度は、家庭・地域との連携や情報発信により積極的に取り組んでいきます。

・「教職員の電話対応等」に関する設問では85%以上の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。

・一方で厳しい意見も寄せられています。電話対応や接客などは一回一回が勝負であること、そのことが学校全体のイメージや印象となっていくことを踏まえて、生徒の良き見本となれるよう全教職員で改めて確認していく必要があると考えます。

※記述でいただきましたご意見には、「教科指導など学習に関すること」「部活動に関すること」「学校と家庭の連携に関すること」「教職員のあり方に関すること」など、良い評価をいただいたもの、改善を要するものなど、多くのご意見をいただいています。今後の参考にさせていただくとともに、学校づくりに活かしていきたいと考えます。

## ◆学校評価関係者会議より◆

アンケート結果やいただいた意見、教職員の教育活動等の評価・反省、それを受けての学校づくりなどについて、学校教職員とは別の立場で様々な学校に関わっていただいている方からご意見をいただく機会として、学校評価関係者会議を3月6日（金）に開催しました。

本校では、学校長に学校経営のアドバイスをする学校評議員の方と、保護者代表としてPTA本部役員の方に参加をいただきました。そこでの主な意見等を紹介いたします。

- アンケート結果もそうだが、日頃から生徒たちが頑張っている姿が十分に感じられ、良い学校になってきていると思う。
- 27年度の重点として校内研究や授業改善に取り組むとあるが、生徒とともによりよい授業をつくるという考え方は大変良いと思う。これからは特に自分の気持ちを言葉でわかりやすく表現することが求められていくと思う。併せて生徒が安心して自分の気持ちを言える雰囲気をつくって欲しい。
- 学力については授業内容の定着やそのための家庭学習など課題となっている。頑張れば実現可能な具体的な目標づくりが大切と考える。
- 教職員としての授業力や指導についての意見など寄せられている。兄弟姉妹でもそうだが、子ども一人ひとりには持ち味がある。しかり方などどんな言葉でどう言われるかによって素直になれる時もある。そうでないこともある。親も教職員もその点を踏まえた対応が大事だと考える。
- 今は情報も含めて様々なものが簡単に子どもの手に入り、子育ても難しさがあると思うが、親として自分の子育てにもっと自信を持って欲しい。忙しさもあるが家庭での親子の会話は大事だと考える。
- 社会は大変厳しく、ともすると学校を出て社会に触れて心が折れてしまう若者も見られる。学校や家庭でもある面でも厳しさは必要と考える。失敗をさせないことだけでなく、失敗してもそれを活かしていく心の強さを育てて欲しい。

## ◆27年度の学校づくりについて◆

なにごとに

で取り組む生徒の育成

- (1) 生徒が元気に過ごす学校づくりをめざします 元気プロジェクトの推進
  - ・生徒一人ひとりに十分に目を向け、日常の生徒とのふれあいや教育活動を通して、生徒が自ら課題に立ち向かい、自分の良さを伸ばしていけるよう支援の充実に取り組みます。
- (2) 生徒が根気よく学ぶ学校づくりをめざします 根気プロジェクトの推進
  - ・生徒が学ぶ意欲を持ち、基礎的・基本的な知識・技能を身につけるとともに、思考力・表現力など、身につけた知識を活用する力を伸ばしていけるよう授業改善に取り組みます。
- (3) 生徒のやる気に満ちた学校づくりをめざします やる気プロジェクトの推進
  - ・学級活動や学校行事、生徒会活動、部活動などを通して、生徒どうしが関わり合い、互いに伸びていく、やる気に満ちた温かく安心できる集団づくりに取り組みます。
- (4) 生徒の本気を支え、連携・発信する学校づくりをめざします 本気プロジェクトの推進
  - ・小中連携、中高連携、保護者や地域との連携の強化を図るとともに、生徒の良さや学校の良さを積極的に発信していく中で、保護者や地域に支えられる学校づくりに取り組みます。

○平成27年度は本校創立30周年の記念すべき年となります。生徒たちが30年という節目を意識し、27年度に取り組む様々な活動をより充実できるよう保護者や地域の方々のご支援をいただきながら、教職員一同頑張っていきたいと考えています。宜しくお願いいたします。